

# グループワークの心得

## 1. 相手の話をよく聞く

- 自分の意見を言う前に、まずは相手の話にしっかり耳を傾けましょう。聞く姿勢が信頼を生みます。

## 2. 遠慮しすぎず、でも押しつけない

- 自分の考えを伝えることも大切です。ただし、意見を押しつけるのではなく「提案」の形で話すと、受け入れられやすくなります。

## 3. 役割を自分から引き受けてみる

- 書記・発表・まとめ役など、得意でなくても一度やってみることが成長につながります。

#### 4. 「みんなで作る」という意識を持つ

- 一人の考えではなく、チーム全体で作り上げるのがグループワーク。全員が参加できる雰囲気づくりが大切です。

#### 5. 進行状況の“見える化”を大事にする

- 作業の進み具合を共有しないと、やっていない人・やりすぎて疲れる人が出てしまいます。表やメモなどで共有しましょう。

#### 6. 違う意見はチャンスと考える

- 意見の食い違いは、よりよいアイデアが生まれるきっかけ。否定ではなく「なるほど、じゃあこうしてみたら？」と前向きに捉えましょう。

## 7. 感謝とねぎらいの言葉を忘れずに

- 「ありがとう」「助かったよ」の一言がチームを明るくします。

## グループワーク研修の意義

### 1. チームで成果を出す力を育てる

- 一人ではなく複数人で協力して課題に取り組むことで、「協調性」や「チームワーク」の大切さを学びます。
- 職場でも仕事はほとんどがチームで進められるため、現場に近い経験ができます。

### 2. コミュニケーション力の向上

- 意見を伝える、聞く、まとめるといった一連のやり取りを通じて、社会人に求められる基本的な対人スキルが身につきます。

### 3. 主体性と責任感を養う

- 与えられた役割を自分から引き受け、チームの一員として責任を持って動く経験が、自律的な行動力につながります。

#### 4. 課題解決力・創造力の強化

- 正解のないテーマに対して、仲間と話し合いながら答えを導く中で、考える力や柔軟な発想力が磨かれます。

#### 5. 多様な価値観を知る

- 異なる考えや感じ方を持つ人と関わることで、自分の視野が広がり、多様性への理解が深まります。

#### 6. 社会人としての土台づくり

- 職場に出たときに必要な「報連相（報告・連絡・相談）」の習慣や、時間管理、協働姿勢などが自然と身につきます。







## ✅ 最小構成：簡単なGit共同開発ルール（TortoiseGit + GitHub）

### ① ブランチルール（超シンプル）

- **main**：最終的に完成した安定版（基本的に誰も直接触らない）
- 個人の名前ブランチを作る（例： `yamada` , `tanaka` ）

👉 作業は各自、自分のブランチで行うだけでOK！



## ② 基本の流れ（1人ひとりがやること）

1. GitHubのリポジトリをクローン（初回だけ）
2. 自分のブランチを作る（TortoiseGit → ブランチ作成）
3. 作業・保存・コミット（こまめに）
4. 作業が一区切り → プッシュ
5. チーム内で「できたよ！」と声をかける or Pull Request

## ③ コミットルール（例）

text

〔追加〕 メニュー画面を作成

〔修正〕 計算処理のバグ修正

〔変更〕 ファイル名を変更

👉 「何をしたのか」が簡単に伝わればOK！









